

## 医療的ケア児災害対策研修

# スペシャルキッズと共に取り組む 防災ネットワーク TEAM☆のらぼうせい

SAITAMA  
NPO法人ニモカカ  
福祉防災事業リーダー  
齋藤朝子

## 障害や難病のある人の災害対策 やることいっぱい

医療的ケアの物品

どこに避難すればいいの？

電源の確保

誰に聞いたらいいの？

避難のための方法検討・人手確保

ポタ電？負担が大きい

ペースト食・刻み食・アレルギー対応など食品

治療・予防のため服薬 医療面の対応

個別避難計画

@2026 Nimokaka Saitoh



## 「避難しない（在宅避難）」の「できない」の？

家も大丈夫  
備えもある  
避難しない

どこに避難すれば  
いいの？

避難は  
リスクが高い

環境を  
変えたくない

避難所で  
迷惑になりそう

@2026 Nimokaka Saitoh

## 「避難したい」場所がない！

近くの学校の  
体育館？  
電気は？水は？

福祉避難所は  
2次避難所？

2次って？  
移動が  
困難なの？

誰に避難の  
サポートをお願い  
すればいいの？

避難所は  
迷惑かけそう

使い慣れた  
あの場所は  
なんでダメ？

@2026 Nimokaka Saitoh

## 避難しようとしても…持ち出し品が多すぎて こんな余裕はない！ 持ちきれない！

家族だけでは無理！

旅行並み

ケアに必要な物品の他  
通常の持ち出し品が！

家族の持ち出し

ケア用品

袋コの手も  
借りたい？

@2026 Nimokaka Saitoh

## 行きたい避難所作りを考える

- ・地域の方に支援の必要な人がいることを知ってもらう
- ・地域の人たちと一緒に考える 地区防災計画へ

地域を巻き込む



@2026 Nimokaka Saitoh



支援の仕方

知っている人には  
声をかけやすい



## NPO法人ニモカカ

難病を含む障害児・者ときょうだいおよび保護者がその尊厳を脅かされることなく、希望を抱いて人生を送ることのできる社会の実現に寄与することを目的とする法人。

名前には「大変…にもかかわらず、笑っていられる人になれたら」という願いが込められています。



@2026 Nimokaka Saitoh

## ニモカカと防災

災害時、私たちは助けが必要になる。  
事前に地域とつながり、「知ってもらう」ことは、  
私たちだからこそできる防災です！

つながることは備えること  
一緒に活動して  
私たちを知って欲しい

@2026 Nimokaka Saitoh



## 私とニモカカ

防災イベントについて助言・協力からスタート

NPO法人化する際に福祉防災事業が加わり  
そちらに参画することに

地域と防災 福祉と防災  
職場とは別にやってみみたいことに挑戦

@2026 Nimokaka Saitoh

## 当事者団体の悩み

県内の親の会がそれぞれ防災について取り組む

親の会で取り上げることは  
防災だけではない

子育てしながら・  
打ち合わせ  
当日の運営  
子どものケアは?  
活動資金  
内容の検討 etc

@2026 Nimokaka Saitoh

## 当事者団体の負担軽減

防災に取り組む人手不足  
継続して取り組むためには  
負担が大きすぎる問題

インクルーシブ  
フェスタに親の  
会の有志で防災  
啓発を提案

興味を持つ人もいるが  
防災意識がまだまだ  
もっと啓発していきたい

9.28. @2026 Nimokaka Saitoh

防災をテーマに親の会で助け合えないかなあ

@2026 Nimokaka Saitoh

## 実践②広がるネットワークと支援

TEAM☆のらぼうさい始動!  
この埼玉の地で根を張る草の根運動

特定非営利活動法人 NPOにじいろ  
特定非営利活動法人 mamacare  
カリヨンの社医療的ケア児・者の家族会Ohana  
医療的ケア児保護者  
NPO法人ニモカカ(事務局)

@2026 Nimokaka Saitoh

## ネットワーク設立のねらい

- ①組織を超えて協力し、人手不足を解消・負担軽減する
- ②県内各地での防災イベントを継続・実施し、  
防災啓発の偏りを解消する  
実施エリアの地域連携に繋げる
- ③埼玉県内のスペシャルニーズのある人たちの災害時の  
支援体制について協議し、災害時の具体的な支援体制  
の整備を目指す

@2026 Nimokaka Saitoh

## TEAM☆のらぼうさい定期連絡会

- ①防災イベントパッケージ化の検討
  - ・各団体の強みを活かした人材・資材
  - ・「防災×あそび」のブラッシュアップ
- ②当事者の立場から災害時に必要な支援の検討
  - ・県医療的ケア児等支援センターとの連携
  - ・ガイドブック作成の協力(4月)
  - ・「彩の国会議」に登録(7月12日)
- ③各団体との情報交換

@2026 Nimokaka Saitoh

・毎月1回開催 対面とオンラインを交互に  
・お子さんの体調を見ながらの日程調整は  
厳しい&でも楽しい!

参加者同士の  
学び合い!

@2026 Nimokaka Saitoh

## やりたいことを語り合おう 夢を繋ごう

防災キャンプ 福祉避難所  
避難所代替りのコンテナハウス  
キッチンカー  
同時避難訓練 ネットで繋ぐ

防災グッズお試し  
支援者育成  
障害者施設に防災グッズを常設  
夢が花咲くように

@2026 Nimokaka Saitoh

## TEAM☆のらぼうさい活動実績

- 4月 TEAM☆のらぼうさい設立
- 7月 「彩の国会議」キックオフミーティング参加
- 8月 防災ガイドブック 班ごとに内容検討
- 9月 九都県市合同防災訓練（埼玉県会場）  
タオル・オクル・プロジェクト実施
- 11月 UniWave（福祉イベント）にブース出展
- 1月 第3回防災×あそびの振り返りと共有
- 2月 防災ガイドブック完成  
協働型災害訓練・防災教育CP取り組み発表
- 3月 活動報告をWEB掲載

@2026 Nimokaka Saitoh

## 「彩の国会議」 キックオフミーティング参加

- ・埼玉県災害ボランティア団体ネットワークに登録。
- ・スペシャルニーズ当事者団体として、災害時に必要な支援について啓発していくことが重要と再認識。
- ・自分たちにできることが見えてきた。



@2026 Nimokaka Saitoh

## タオル・オクル・プロジェクト

- ・佐世保の団体と協力
- 8月豪雨の被災地へタオル支援
- ・各団体会員&地域の方々からも協力
- ・「支援を受ける側から、送る側へ」

自分たちができることを実行



@2026 Nimokaka Saitoh

## 九都県市合同防災訓練 参加

- ・「防災×ケア」をテーマにした啓発活動
- ・当事者と県医療的ケア児者等支援センターの共同

災害時の備え 展示 当事者が参加 瞬間冷却剤作り



@2026 Nimokaka Saitoh

## 第13回協働型災害訓練

「ジェンダーと防災DX」というテーマ  
当事者団体としてのコンセプトフリーを提案

埼玉大学ダイバーシティ推進センター  
立正大学  
TEAM☆のらぼうさい



@2026 Nimokaka Saitoh

## 医療的ケア児者等のための 防災ガイドブック作成

- ・埼玉県医療的ケア児等支援センターとの連携。
- ・当事者としての備え方を紹介
- ・当事者&支援者が「まずは始めてみよう」と思える内容に。



COMING SOON

@2026 Nimokaka Saitoh

## NPO法人ニモカカ福祉防災事業

防災をテーマに地域との交流を！

どうせやるなら楽しく学ぶ  
共に体験する  
そんな場を作っていく



防災×あそびの誕生

@2026 Nimokaka Saitoh

## 実践①防災×あそび



- ・障害のある子もいない子も同じチームで活動
- ・みんなで一緒に取り組むことでそれぞれのことや思いを知る
- ・防災について体験し、楽しく学ぶ



@2026 Nimokaka Saitoh

## モシモランチ

1. 車椅子操作体験、昼食の材料集め  
身近な食材&ライフライン断絶想定で  
水漬けパスタとお菓子からポテサラ作り。
2. 「協力すれば、美味しいご飯ができる！」と  
いう喜び。



@2026 Nimokaka Saitoh

## あそびの中に学びを！ スタンプラリー

チームと一緒に8つのミッションに挑戦

防災クイズ



心肺蘇生



地震体験



@2026 Nimokaka Saitoh

## これまでの実践を地域に還元

埼玉県立日高特別支援学校での防災教育&  
防災体験プログラムの内容をアレンジ！

防災クイズ      心肺蘇生      地震体験

災害伝言  
ダイヤル体験



煙体験



避難所体験



@2026 Nimokaka Saitoh

## 体験したからこそ気づき

1. 地域の地形を段ボールジオラマを作りながら学ぶ  
起こりうる災害とその対応
2. 避難所での素早い設営・過ごしやすい場所作り
3. 公衆電話と災害伝言ダイヤルの使い方



@2026 Nimokaka Saitoh

## 防災教育チャレンジプラン採択

1. 彩の国防災ネットワーク設立
2. 防災×あそび

これらに挑戦し、**防災教育特別賞**を受賞！

ありがとうございました  
ございました



@2026 Nimokaka Saitoh

## まとめ

顔見知りを増やすことが  
最高の備えになる！

活動から見てきたこと

- ・「発災時に直接行けなくても  
事前の啓発なら「私たちにも  
できる！」という強い確信。
- ・発信することで支援者と  
繋がることできる。



@2026 Nimokaka Saitoh

様々な人たちとのつながり・拡がることが大切



避難に支援を要する人々への支援方法を一緒に考える

@2026 Nimokaka Saitoh

## 私たちの願い

MAKE A  
Wisho

前例にとらわれないで！  
前例の有無ではなく  
「今の私たち」を見て考えてほしい

やらないより  
やっちゃえ！

当事者抜きに決めないで！！



当事者の声を聞いて欲しいけど  
いつも同じ人ではなく、母数を大きく、深く

@2026 Nimokaka Saitoh

## 私たちの願い **MAKE A Wisho**

職員の異動により積み重ねたものがリセットされるのも残念！継続のコツは？

「この職員さんだからできた」

組織は属人性を嫌がるけどさ

その人じゃないとなぜできない？（結果）を元にどうすればできる？（考え方）をみんなでお考えませんか

@2026 Nimokaka Saitoh

## 私たちの願い **MAKE A Wisho**

うまくいっていない事例（理由や困りごととは同じでは？）

逆によく進んだ事例からどうやってできたか！を学んでいけば

やる気のある行政をサポート

当事者から支援者向けに発信しているものはある？

防災コンシェルジュ・アドバイザー

そのために縦横無尽に動ける人（縦割りじゃ無理）

仲間を繋ぎながら共に考える人

@2026 Nimokaka Saitoh

## 私たちの願い **MAKE A Wisho**

行政・医療・自治体間での要支援者に関する情報共有

たらい回しは辛い！

各福祉避難所を起点とした当事者を含めた協議と訓練

県単位での福祉避難に関する継続的な協議と訓練

事務局として協議の場を整える役割を担ってほしい

@2026 Nimokaka Saitoh

## 今度の展望（未来へ）

- 教材化
  - 当事者の気持ちに焦点を当てた防災教材
  - 防災プログラムパッケージ化
- 県内各地でのプログラム実施
- 災害時支援体制の整備
- 当事者団体として発信
- 他団体との繋がり

@2026 Nimokaka Saitoh

## 最後に

関わってくれたすべての人へ  
ありがとうございます！  
これからもよろしくお願いいたします！

私たちの活動に興味を持ってくれた方  
気軽にお声がけください！  
「繋がることは備えること！」

@2026 Nimokaka Saitoh

## 貴重な機会をありがとうございました

TEAM☆のらぼうさい

@2026 Nimokaka Saitoh

